

# “自閉症”再考 ～原点から ASD を考える～

近年、“自閉スペクトラム症 (ASD)” に対する関心は、知的障害がなく自閉症状が軽度の人たちが中心となっています。彼らの臨床像は多彩であり、一見自閉症状がわかりにくく、障害に由来する問題が生じていてもその原因を理解してもらえないといった軽度 ASD 特有の困難さもあります。一方、重度 ASD (知的障害の有無に関わらず、自閉症状が顕著な ASD) 者の自閉症状は顕著であり、抱える問題の原因となっている障害特性を理解しやすい場合が多くあります。しかし、彼らの生活上の問題の解決は決して簡単ではなく、現在も対応できる専門家は少ないため、十分な支援が受けられているとは言えません。また近年の動向を見ていると重度 ASD に関する研究・シンポジウムは少なく、重度 ASD 者への関心が薄れているのではと危惧されます。

そこで今回のシンポジウムは、重度 ASD について再考し、自閉症状の本質について理解を深めることで、多彩な臨床像を示す ASD 全体に対する支援につなげたいとの思いから企画しました。自閉症状が本質的な形で現れやすい重度 ASD 者の生活上の問題を知り支援方法について考えることは、重度 ASD 者への支援はもちろん、自閉症状が軽度ゆえに問題の原因を見過ごされやすい軽度 ASD 者への支援にも有効な示唆を与えてくれると考えています。医療スタッフ、療育関係者、支援員、教員、ご家族のみならず、ASD の支援に携わる全ての方に参加して頂きたいシンポジウムです。



イラスト：TAKAYA さん



「自閉スペクトラム症のサブタイプによる認知特性と臨床像の変化」  
十一元三先生  
京都大学大学院医学研究科  
人間健康科学系専攻 教授



「自閉症支援「再考」  
～支援はどこを目指すのか～」  
吉川 徹先生  
愛知県医療療育総合センター中央病院  
子どものこころ科 部長



「重度 ASD 児をとりまく課題とその対応」  
新澤 伸子先生  
武庫川女子大学 文学部  
心理・社会福祉学科 教授

シンポジウム企画・司会：伊勢 由佳利 (特定非営利活動法人 神経発達症研究推進機構 研究員・きみと甲子園こそだて診療所)

2021年12月11日(土) 13:30～17:30  
オンライン開催 (Zoom) 一般 3,000円 学生 1,500円

参加申込 12月1日(水) 受付締切 12月3日(金) 振込締切  
<https://forms.gle/wBoc2oT83FJoxQIAA> へ参加情報をご入力の上下記口座へ参加費をお振込下さい。



御振込先

銀行名：ゆうちょ銀行 支店名：四四八 口座種類：普通預金  
口座番号：5203136  
口座名義：特定非営利活動法人 神経発達症研究推進機構  
\*必ず参加申込を済ませてから、ご入金下さい。  
所属名ではなく参加者ご自身のお名前でお振込をお願い致します。

主催：特定非営利活動法人 神経発達症研究推進機構 <https://opndr.jp>  
共催：京都大学医学研究科人間健康科学系専攻  
文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム <https://asdproject.jp/>

